

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	障害児保育園ヘレン荻窪			
○保護者評価実施期間	2025年11月12日		～ 2025年11月30日	
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数)	7名
○従業者評価実施期間	2025年11月19日		～ 2025年12月11日	
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14名	(回答者数)	12名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月9日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子さま一人ひとりの成長発達を理解し、健康に留意しながら日々の保育を丁寧に取り組んでいます。	個性性を大切にし、それぞれの力を発揮できる環境づくりをしています。	医療的ケアが多く体調管理の配慮が慎重なお子さんのご利用が今後も増えていく見込みです。医療面の管理だけにならないよう、こどもの好きな遊びや楽しい時間をたくさん提供できるように工夫していきます。
2	年間数回ではありますが、土曜日に園解放をしてご家族同士の交流の場を提供しています	ご家族と一緒に楽しめる遊びや遊具を準備して開催しています。「ごきょうだい児さんが楽しみにしていただいたい」というお声を頂戴しています。	ご家族みなさまに楽しんで交流いただける活動を企画運営してまいります。
3	地域園との交流に積極的に参加したり公園の散歩で近隣のお子さんと挨拶をしたり、できるだけインクルーシブの機会を設けています	読み聞かせのボランティアさんや来客のみなさんと「あいさつをすること」を目標の一つとし、社会性を育むようにしています。 近隣の商店街へ買い物に出かけ、地域の方にお声掛けをいただき交流をしています。	地域のみなさまとのつながりを大切にし、こどもたちと関わる活動を広げてまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ビルの3階にあるため、災害時に安全な避難をおこなうには、階段で逃げることに時間がかかってしまうこと。	災害時には停電によりエレベーターは使用できなくなると考えられるためです。 また、災害時の避難経路が内階段1つのみであり児童を迅速に避難させることに課題があるためです。	おんぶや抱っこでの避難訓練を医療物品の搬送も含めて実際に想定して毎月取り組んでいます。今後も続けて行きます。自治体にも不安を伝えています。
2			
3			